

検閲？巨大中国テーマパーク？中国移民が跋扈する豪州・カナダの悲劇

カナダやオーストラリアでは、大量に「海外脱出」した中国人が押し寄せている。彼らは移住先の国のルールを覚えようとせず、車をぶつけても嘘の証言をする、高級マンションをゴミだらけにするなど、秩序を踏みこじっている。最近、こうした資源国の資本を中国政府系企業が買い漁っており(中国海洋石油によるカナダ・ネクセン買収など)中国系移民・帰化人の増加と関わりがあると考えられる。

さらに豪州では、親中・労働党政権のもと世界でも類のないインターネット検閲が中国を真似て行われようとしたほか、シドニー郊外には天安門や故宮を模した巨大な中国テーマパークが現在も建設予定である。



危険！日本で密かに進む移民・多文化共生構想

最近日本国内の様々な自治体で「多文化共生」と称して外国人に暮らしやすい街づくりを進めようとする動きがある。しかし、「郷に入って郷に従わない」外国人と日本人との文化摩擦が起き、地域社会の秩序が乱される事例が絶えない(例：「池袋チャイナタウン」で検索)。また、**中国人・朝鮮人による日本国内の外国人犯罪率は日本人の14倍**というデータもある。(警察庁調べ)

さらに、経済学者と呼ばれる人々が「少子高齢化対策として移民を受け入れるべき」と喧伝している。しかしその主張では「女性や高齢者が重労働をするのはかわいそう」(堺屋太一氏の講演より)など、治安や安全保障に関する問題や経済コストには触れられず、主観的・恣意的な議論が展開されていることを我々は見抜く必要があるのではないだろうか。



ご存知ですか？中国の「国防総動員法」「人口侵略」

特に反日国・中国の人々を移民として受け入れることの危険性は計り知れない。2010年に中国で制定された「国防総動員法」を聞いたことがあるだろうか。中国政府が民間中国人を軍事的に指揮する法律で、**有事の際に国内の中国人が全国で暴動を起こす危険性**がある。中国から尖閣諸島などを狙われている日本にとって、中国移民の受け入れはまさに自殺行為である。実際、チベット侵略時も中国は大量の移民を送り込んで軍事侵攻しているという事実も忘れてはならない。

沈黙するマスコミの裏に反日勢力の影！

なぜこれだけの問題がある移民促進にマスコミが反論しないのか？ヨーロッパ同様、マスコミが外国人、特に中国や韓国など反日勢力の利権の影響を受けているからである。

(詳しくは「マスコミ正体」「国民が知らない」で検索！)

人ごとではありません。日本の治安や社会秩序に直結する問題です！

「移民」「多文化共生」「外国人参政権」の問題にぜひ関心を持って、キーワードをインターネットで検索してみてください。もしお住まいの自治体で、「多文化共生」「自治基本条例」(=事実上の外国人参政権推進法案)等の言葉を聞いたら、役場に貴方の声を届けてみてください。少子高齢化対策として、問題の多い「外国人移民」に反対し、「外国人移民」以外のアイデアの提言・賛同の意見を政府に送りましょう。**報道機関はあてにできません。**日本人の一般市民の声が必要です。数が多ければ多いほど無視できなくなります！